

「高萩市原子力災害広域避難計画（案）」に対するパブリック・コメントに寄せられた意見について

1 意見

2件

2 意見の内容（ご意見は原文のまま掲載しています。）

1	<p>① 新聞報道によると、今回の避難計画は「東海第2の重大事故に備えた」ともとされているが、本計画案を見ると事故の範囲を「原子力災害」と表記されているので、再処理施設やJCO等の核物質取り扱い工場をも念頭に置いて考察されているのであれば、現実に即したものであるとして評価したい。</p> <p>② しかし、本案が事故想定に具体性に乏しく、ア）どこで（原子炉、高レベル廃液処理工場、核物質取扱事業者） イ）原因や事故の規模 ウ）時間帯や気象条件イメージが余りにも不明で切迫感がもてないのではないか。</p> <p>③ すべての場合について対策を取ることは不可能であろうが、何らかの②の条件を仮定しないで避難計画（避難方法、避難場所や期間）を考察するのは、有効性を期待できないのではないか。</p>
2	<p>第5章、3 避難が長期化した場合の対応について</p> <p>「市は、避難が長期化する場合は、県や国と連携し避難者がホテルや旅館等へ移動できるよう努める。また、市は、県や国と連携し応急仮設住宅の迅速な提供、公営住宅、賃貸住宅等の活用及びあつせんにより、避難所の早期解消に努めるものとする。」</p> <p>過酷な原子力災害事故では年単位での避難の可能性があります。福島事故では14年以上たった今でも避難生活を強いられている人がいます。そして、住居や生業など失ってなお、家賃保証に打ち切りや立ち退き命令などにより経済的にも社会的・精神的にも非常に痛手を受けています。</p> <p>このようなことになっても誰も責任を取りません。</p> <p>いくら除染してインフラ整備してもほとんどの人が帰りません。</p> <p>帰りたくても帰れないのです。</p> <p>つまり故郷喪失です。</p> <p>これについて100%の保証がない限り再稼働はすべきではないと考えます。</p>

3 市としての回答

貴重なご意見をいただきありがとうございます。

今後は、訓練等を通して計画の修正及び見直しを行っていきます。